

電波時計(掛時計) 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して時刻を自動修正
- 暗くなると文字板面を照らします

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について**
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について**
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合**
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
(フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4MY○○○、4MYA○○

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。





(Y1106)

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


■表示の説明について


表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。		してはいけない「禁止」内容です。
	「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

- 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
- 温度が+50℃以上になる所。たとえば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。プラスチックの劣化や電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多い所。
- ほこりが多く発生する所。
- テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変色することがあります。

おもな製品仕様

時間精度 ●標準電波受信成功直後の表示精度
秒針 ±1秒以内 時針/分針 目盛りに対して ±3度
●標準電波を受信しない場合
平均月差 ±20秒以内(常温中のクォーツ精度)

使用温度範囲 -10～50℃ *結露しないこと
使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 4個
電池寿命 照明スイッチ 弱約1年 強約6ヵ月 消す約2年
*照明時間は、1日当たり7時間
*いずれの場合も標準電波の受信に成功している場合

電波受信機能 標準電波受信による時刻修正
受信局 福島局、九州局自動選択
受信 ON/OFF ボタン操作で ON/OFF 切り替え
受信回数 最少 1日に1回 最多 1日に6回
受信開始時刻 2時、3時、4時、12時、13時、14時
各時間帯の16分20秒に受信を開始
午前2時16分20秒は必ず受信を行う。

- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池 4個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

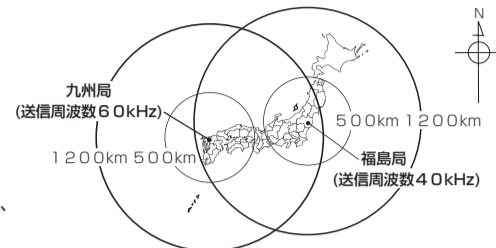
標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。



標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

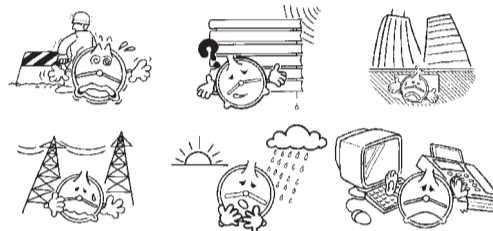
海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能をOFFにして、手動で時刻を合わせてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多いところなど電波障害の起きるところ
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電池のご注意 (電池の正しい使い方)

電池ご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう。

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について


- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。(例、Panasonic オキシライド乾電池)

取り扱いについて


電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 電池に傷をつけたり、分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 時計を使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。

液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

警告 衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。

お手入れについて

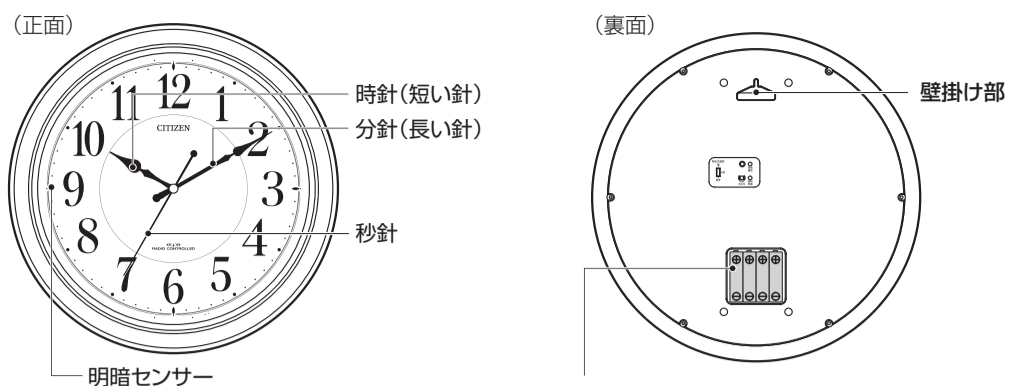
- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けて使用したときに、静電気により時計および壁面が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池を取り外してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

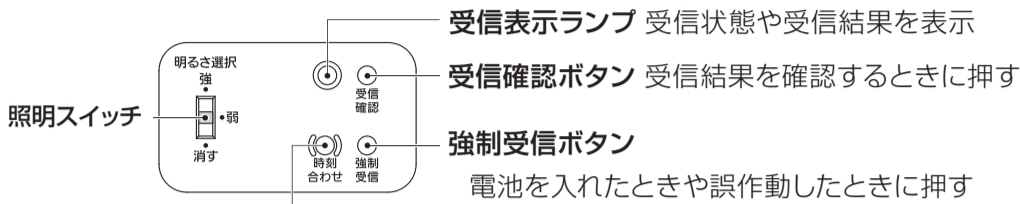
●図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



照明用のLEDは、12時と6時側に配置されています。

針の動き……通常の時刻表示
時計・分針：10秒に1回動く 秒針：1秒ステップ
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動することがあります。

単3形アルカリ乾電池
単3形アルカリ乾電池を4個、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れてください。
※電池の⊕⊖を逆向きに入れると、電池の発熱、破裂、液もれの原因になります。



時刻合わせボタン
電波を受信できないときなど手動で時刻を合わせるときに使用
不用意に押すと時刻が変わります。

こんなときには電池の交換が必要です

- 時計が止まったとき。
●針が不規則な動きをするとき。
●照明が暗くなったとき。

電池の交換

電池が切れた状態で放置すると、電池からの液もれにより、時計の修理や壁面などの修繕に費用が発生することがあります。

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために次のことをご守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
●電池は、すべて新しい同一種類の電池に交換する。
●照明の使いかたに応じて、定期的に交換する。



電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変えて受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように設置し、強制受信ボタンを押して受信を開始してください。

電波を受信できないときや意図的に時刻を変えたい場合は、手動で時刻を合わせることができます。

手動での時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

☞電波受信機能のON/OFF操作☞参照。

操作手順

- ※秒針が1秒ステップで動いているときに、操作してください。
○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。
○時刻合わせボタンを押し続けると秒針は12時位置に停止します。

秒針の動きについて

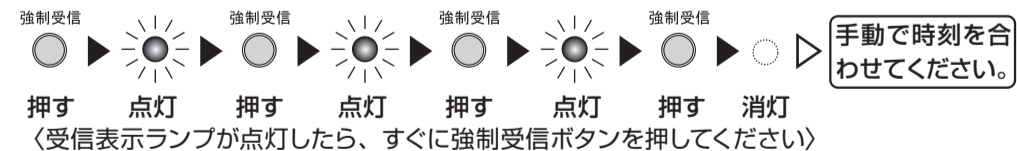
- 時刻合わせボタンを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。
秒針が12時位置に止まっていないときは、早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。
※手動で時刻を合わせたときの、時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには（受信機能を無効にするには）

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときは、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

電波受信機能をONにするには（有効にして受信を開始するには）

工場を出荷するときには、ON(有効)になっています。
OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

- ※この説明文中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
※電池を取り出しても設定を長い時間保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

1. 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

①電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を4個入れる

②強制受信ボタンを押す……受信の流れと受信表示ランプの見かた
受信表示ランプが点灯して、針は12時、4時、8時のいずれかの時刻に早送り移動して、受信が終わるまで停止しています。
※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。

③時計の掛けかたに従って確実に掛ける

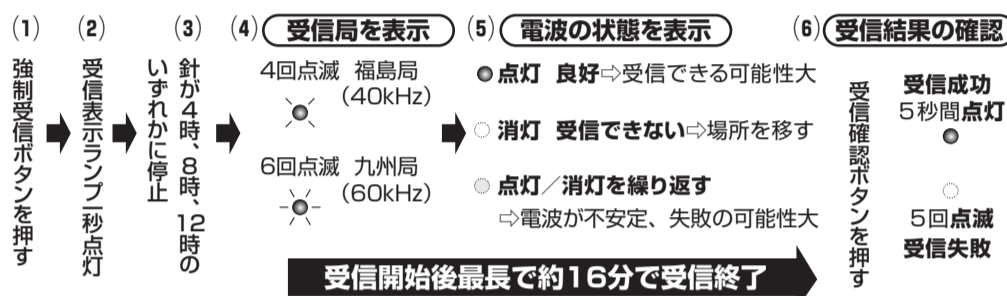
④受信開始から16分後に受信結果を確認する
受信が終わると針が早送り移動して時刻を示します。
受信確認ボタンを押してすぐに離すと、受信表示ランプが受信結果をお知らせします。

- 5秒間点灯：受信成功（正しい時刻）
5回点滅：受信失敗（不正確な時刻）→電波を受信できない場合へ
2回点滅：受信機能がOFF
消灯したまま：受信中

- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
○受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

※照明スイッチを設定してご使用ください。

受信の流れと受信表示ランプの見かた

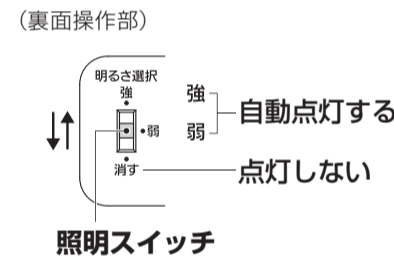


電波サーチ機能の使いかた……受信しやすいところの探すには

- ①窓際やベランダで⑤まで行き、受信表示ランプが点灯していることを確認します。
▶消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
②時計を掛けたい所に移動して、受信表示ランプで受信状態を見ます。
※同じ部屋の中でも、電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

2. 照明の設定

明暗センサーに連動して、暗くなると文字板を照明します。



照明は受信中止消灯します。
照明中でも受信を開始すると消灯します。
消灯するのは、標準電波を受信しやすくするためです。

明るさの選択

照明スイッチで強または弱を選択できます。
※照明の明るさは、暗い部屋で確認してください。
※照明の明るさは、暗さに対しての目の慣れや室内の明るさにより感じ方が変わります。
※照明の明るさは、電池の寿命に影響を与えます。定期的に電池の交換が必要です
照明スイッチと電池寿命の目安 強 約6カ月、弱 約1年、消す 約2年

明暗センサー

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止させます。また照明スイッチが強または弱のときは文字板面を照明します。
昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

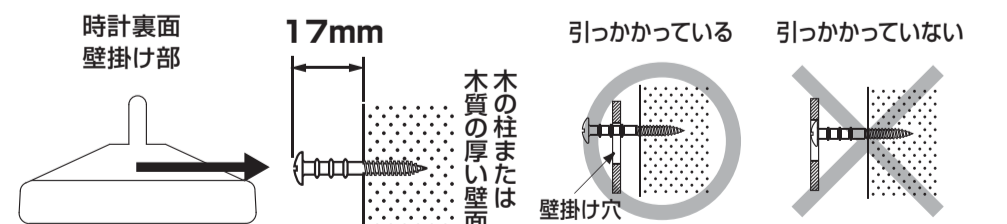
時計の掛けかた

掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具(木ねじ)に壁掛け部がしっかり掛かっていることを確認してください。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

静電気の影響について

静電気の影響により、時計が正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。